

高齢 2 型糖尿病患者における低用量チルゼパチドの実臨床効果と忍容性：単一施設後方視的研究

2024 年 4 月から 2025 年 12 月までに糖尿病治療・体重管理のためにチルゼパチド（マンジャロ®）を開始した患者さん

研究協力をお願い

当科では「高齢 2 型糖尿病患者における低用量チルゼパチドの実臨床効果と忍容性：単一施設後方視的研究」という研究を行います。この研究は、2024 年 4 月 1 日より 2025 年 12 月 31 日までに東京労災病院糖尿病・内分泌内科にて、糖尿病治療・体重管理のためにチルゼパチド（マンジャロ®）を開始した患者さんの実臨床効果と忍容性を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：高齢 2 型糖尿病患者における低用量チルゼパチドの実臨床効果と忍容性：単一施設後方視的研究
研究期間：2024 年 4 月 1 日～2026 年 12 月 31 日
研究責任者：東京労災病院 糖尿病・内分泌内科 桑原 公一郎

(2) 研究の意義、目的について

この研究は、チルゼパチド（マンジャロ®）の少量による実臨床効果（特に血糖管理や体重管理）と忍容性を、高齢者を中心に調査するものです。期間内の体重推移と、電子カルテ内に集積された臨床データを用いて、高齢の患者さんにとって、より安全で続けやすい糖尿病治療を考えるために役立つ研究です。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2024 年 4 月 1 日より 2025 年 12 月 31 日までに東京労災病院糖尿病・内分泌内科にて、チルゼパチドを開始した患者さんの体重推移などを解析し、その実臨床効果と忍容性を調査します。
この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。
試料：血液
情報：年齢、性別、体重、病歴、併用薬、使用したチルゼパチド用量など

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 糖尿病・内分泌内科 部長 桑原 公一郎
〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21
電話番号：03-3742-7301（代表） 内線：8101
メールアドレス：kanazawa.ken@tokyoh.johas.go.jp